

## 講座のご案内

### 森のせんせいスキルアップ講座(幼児を対象としたインタープリテーション)

森のせんせいに既に登録している方や、森林環境教育の経験者を対象にしたスキルアップ講座を開催します。  
この講座では、国内でも先進的な事業を行ってきたキープ協会から講師を招き、実習を通して幼児を対象としたインタープリテーション、コミュニケーション能力を高めます。

■日時 9/12(土)9:30～16:00・9/13(日)9:30～15:30 ※両日参加が条件です。

■場所 天満荘(尾鷲市天満浦 161 番地) ■定員 20 名(先着順)

\*詳細・応募はホームページをご確認ください



昨年度の講座の様子

### 森林環境教育指導者養成講座(技術編)



一昨年度の講座の様子

学校教職員の方や保育士の方をはじめ、森林環境教育に関心のある方を対象にした、森のせんせいになるための第一歩の講座です。知識編の講座(来年2～3月頃実施予定)と併せての受講をお勧めいたします。  
技術編では、自然観察などをおとして自然と人を結ぶための「インタープリテーション」を学びます。  
今回は特に熊野地域の魅力を引き出せるインタープリターになることをめざします。

■日時 11/7(土)10:00～16:00・11/29(日)10:00～16:00 ※両日参加が条件です。

■場所 紀南ツアーデザインセンター(熊野市木本町 517-1) ■定員 10 名(先着順)

\*詳細・応募はホームページをご確認ください

## イベント開催のお知らせ

### 「第7回みえの森フォトコンテスト」作品募集中!

写真を通じて森や木に親しんでいただくことを目的とした「みえの森フォトコンテスト」を開催しています。ぜひご応募ください!

- \*テーマ 「三重の森林」
- \*最優秀賞には2万円相当の副賞(※中学生以上の部)があります。
- \*応募期間 令和2年10月11日(日)まで。
- \*対象 三重県内に在住または通学通園(所)している18歳までの方。
- \*詳細・応募は、みえ森づくりサポートセンターまで。



### 10月の「三重のもりづくり月間」を中心に「森の学校」を開催!

| 日         | 時           | 会 場                         |
|-----------|-------------|-----------------------------|
| 9月5日(土)   | 10:00～15:00 | イオンタウン伊勢ララパーク(伊勢市小木町曾根 538) |
| 10月3日(土)  | 10:00～15:00 | イオンモール明和(明和町大字中村 1223)      |
| 10月4日(日)  | 10:00～15:00 | イオンモール明和(明和町大字中村 1223)      |
| 10月24日(土) | 10:00～14:00 | 鈴鹿峠自然の家(亀山市関町沓掛 123)        |
| 11月15日(日) | 10:00～15:00 | 三重県林業研究所(津市白山町二本木 3769-1)   |
| 12月5日(土)  | 10:00～16:00 | みえこどもの城(松阪市立野町 1291)        |

\*詳細が決まり次第、ホームページに掲載します。

\*イベントは新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、やむなく中止や延期になる場合があります。あらかじめご了承ください。



当日は県民参加の植樹祭を開催します!(事前申込必要)



# MORI DUKURI NEWS

2020.9

拡大号

\ TOPICS /

## 「森林環境教育指導者養成講座」を開催!



森林環境教育指導者養成講座(アクティブラーニング)の様子。

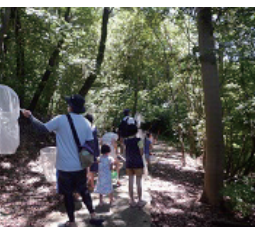


20名の受講生が参加。皆さんとても熱心に学んでいる様子でした。

### 「森林環境教育指導者養成講座(アクティブラーニング)」(7/11)

7月11日(土)三重県四日市庁舎大会議室にて、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、開催しました。  
この講座は、今年度から小学校で新学習指導要領がスタートしたことに対応しました。講師には、一般社団法人SDGsコミュニティ代表理事の新海洋子さんに来ていただき、「主体的で対話的な深い学び(アクティブラーニング)」とカリキュラムマネジメントの両立といったことをキーワードに、子ども達の学びはどう進化するのか、教育指導者として何をどう展開すべきか、森林ESDを中心にしながらSDGsの視点も含めて主体的に学びました。  
また、グループワークでは学んだアクティブラーニングなどの考え方をういて、受講生が持ち寄った課題の解決策を考えました。  
この講座を通じて、職種をこえた新たな横のつながりができ、日常の活動においても互いの長所を活かした協力関係を結ぶきっかけになりそうです。来年度以降もこの講座は開催したいと思います。

### 今年も「森の学校 in MieMu」を開催しました!(8/8～8/10)



三重県総合博物館 MieMu の職員の方々のご好意で今年度も森の学校を開催することができました。参加者数を限定しての実施になりましたが、自然観察会、樹木と昆虫観察会、木や葉を使った工作、木の笛づくり、木のスプーンづくり、貝がらと木の実のフォトフレームづくり、コースターとメダルづくりを行いました。どの森の学校も参加した子どもたちは楽しそうでした。  
8月1日(土)には、イオンモール東員で森の学校と第6回みえの森フォトコンテストの入賞作品展も開催しました。

### 初!オンラインで「森の学校～竹で水てっぽうを作ろう!～」を開催!(7/23)



今回は、在宅でしか参加できない方、遠隔地にお住まいで会場まで行けない方などにも気軽に参加していただけるよう、インターネットを通じて自宅などで参加できる「森の学校オンライン教室」を初めて開催しました。講師は森のせんせいの藤川和彦さんです。

4名の参加者をご家族と一緒に参加してくださいました。参加者の皆さんには事前に工作キットやヒノキのサイコロ材、クスノキの輪切りなどを送付しています。

最初に森のせんせいからヒノキやクスノキのお話があり、香りを体験したり、葉の違いなどを確認しました。その後によいよ竹の水てっぽうの工作です。遠隔での説明はなかなかむずかしそうでしたが、最後には皆完成して楽しく遊べたようです。オンライン教室第2回も現在計画中です。



発行: 三重県 編集: みえ森づくりサポートセンター  
TEL: 059-261-1223 FAX: 059-261-4153 mail: miemori@zc.ztv.ne.jp  
web <http://www.zc.ztv.ne.jp/miemori> facebook <https://www.facebook.com/miemoridukuri/>

## — pick up —

### 森づくり活動団体 「里山ファンクラブ」 (津市一志町)



#### 【はじめに】

私たちが生活している土地には、地元住民が慣れ親しんだ里山（御前山）があり、そこには語り継がれてきた歴史・文化があります。この里山も近隣の山々と同様、時の流れとともに便利な生活と引き換えに荒廃し、人も入れない状況になりました。そんな中、なんとか貴重な里山の歴史文化を地域の多くの方々に知っていただきたい気持ちで、平成16年に同志が集い、11月には公図から土地所有者の確認、12月には設立のための総会を開き、会員22名で発足しました。

平成17年には、現地にて境界の確認とともに地権者の方々に協力をお願いし、里山での作業の準備が整いました。ちょうど、「里地里山保全活動」という県の補助事業があり、県と協議を重ね、また一志町（現在は津市）の担当者とも相談しながら、事業計画を提出しました。

平成17年5月23日付で三重県知事の認定を受け、補助金を頂いての事業着手となりました。この間、地権者の方々、また県・市の方々には大変なご理解とご支援をいただき、会員一同感謝をした次第です。おかげさまで、間伐、草刈、山道の整備等も順調に進み、年間12～13回の出会い作業を行っています。

特に、道祖神祭り、小学校を対象とした森林学習、一般の方々を対象とした里山ウォーキング（春の遠足会）、子供会を対象とした秋の収穫祭等を行い、現在に至っています。（現在会員25名）

#### 里山ファンクラブの精神

人を好きになるためには、その人の心の中に入る。  
里山も山の中に入って、その良さを知り、荒れていれば整理をしてやる。  
そうすれば、風が入り、光がさす。これ、自然が求めているものなり。  
山での作業が終われば、ささやかに、にぎやかに、食事をする事で、  
人の輪が広がり、時とともに人の世は、和でつながるものなり。

#### 活動の動機

私たちの生活環境の中で都会にない自然（里山）というものがそばにありながら、人と山との距離関係がだんだんと遠ざかってきています。以前は山に入って花や食材等を手に入れたものですが、現在、山は荒れ、私たちの生活から里山のくらしの一部から消えようとしています。まして子どもたちが、山の良さ、厳しさも知らずに成長していく姿にはさみしいものを感じます。「里山ファンクラブ」は、御前山と琴平神社跡地周辺で下草刈、間伐等を行って、光と風を入れ、広葉樹林を守りながら地域の方々の健康維持増進と子どもたちの環境教育の場になればと整備を進めています。

#### 主な活動状況

|              |                                                                                                      |  |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| H16.11.22-26 | 山林の公図調べ                                                                                              |  |
| H16.12.16    | 設立総会〔現地にて境界調査・土地台帳の再調査、県担当者打合せ・地権者への説明会、自治会（役員会）へ里山活動について理解と協力依頼。県へ里地里山保全活動計画書を提出、県担当者現地調査立会い、町へ説明。〕 |  |
| H17.5.23     | 三重県知事から里地里山保全活動の認定を受ける<br>臨時総会、取材対応（中日新聞、一志CATV、東海農政局津統計情報センター）                                      |  |
| H17.11.24    | 波瀬幼稚園児が御前山に登る                                                                                        |  |
| H18.9.27     | 波瀬小学校5年生 森林学習 40名（間伐で森の明るさ実感）                                                                        |  |
| H18.10.22    | 道祖神祭り（もちつき・お菓子まき等） 100余名                                                                             |  |
| H18.12.10    | 「環境フェア」に参加                                                                                           |  |
| H19.11.15    | 道祖神祭り、波瀬幼稚園児他、どんぐり拾い等 28名 ここから毎年11月の道祖神祭りに園児・小学生が参加。                                                 |  |
| H20.11.6     | 波瀬小学校5・6年生による間伐体験学習 21名                                                                              |  |
| H21.3.21-22  | 「しぜん文化祭 in みえ」に出展（里山周囲の様子や地域の過去の歴史と遺跡等を写真・絵で出展）                                                      |  |
| H21.11.20    | 波瀬小学生10名と森林学習（間伐作業と巣箱作り） 31名                                                                         |  |
| H22.5.21     | 三重県知事より里地里山保全活動の認定更新を受ける                                                                             |  |
| H25.9.27     | H25年度森林山村多面的機能発揮対策交付金採択される（26年度も採択）                                                                  |  |
| H25.11.11    | 道祖神祭り、秋の収穫祭、波瀬小学校閉校の記念植樹（ふるさとの樹のシデコブシ）                                                               |  |
| H26.5.18     | 春の大遠足（里山登山～里の丘広場イベント） 貝汁・ビンゴゲーム 72名                                                                  |  |
| H28.5.24     | 誠之小学校高学年遠足「5・6年生が御前山を散策」                                                                             |  |
| H28.11.6     | 波瀬子供会 里山広場に水仙の球根植え付け                                                                                 |  |
| H29.11.23    | 植樹祭（桜苗木10本） 62名 この年から毎年植樹祭を実施。                                                                       |  |
| H31.3.3      | 植樹祭（桜苗木12本） 17名 波瀬まちづくり協議会主催。 200余名                                                                  |  |
| R1.5.26      | 「波瀬まちづくり協議会」と連携して休耕田を整備作業                                                                            |  |
| R1.6.16      | 休耕田を整備して、コスモスの種まき作業 36名                                                                              |  |
| R2.3.8       | 植樹祭（桜10本、ツツジ33本） 33名 波瀬まちづくり協議会主催                                                                    |  |

道祖神祭りの後に  
どんぐり拾い

H25.11.11に  
植樹した  
シデコブシが  
H30.3.22に開花  
しました！

R2.3.8 ツツジの植樹

H27.11.23 道祖神祭り・収穫祭  
子供会・矢頭の子クラブ写真

みえ森づくりサポートセンターには、森林・林業や木育に関するさまざまな知識や技術を持った方々が森のせんせいや森づくり活動団体として登録されており、県内各地域で森林環境教育・木育活動や森林整備活動を行ってみえます。この「pick up」コーナーでは、森づくり活動団体の活動を紹介していきます。今回は、「里山ファンクラブ」（会長 水谷賢次氏）を紹介します。

#### 活動内容（実績例）

- 毎月1回の保全活動
  - ①御前山・琴平神社跡地周辺の下刈り、間伐、枝打ち、登山道の整備
  - ②「里の丘広場」の保全・整備
  - ③道祖神付近の草刈・整備
- 地域社会（幼稚園・小学校等）との交流事業
  - ①地域の自然を知り、山を守る活動に理解を深める総合学習…（間伐体験、どんぐり拾い、巣箱づくりなど）
  - ②学校行事（遠足）の対応…（里山の整備が進むにつれて、他の地域の児童も里山に来られています。）
  - ③収穫祭（餅つき・豚汁など）、記念植樹、花植えなど
- 地区内の高齢者世帯を対象に日常生活支援サービス
  - 畑の草刈や庭木の剪定などを請け負う活動
- 総会、新年会（旅行）、作業後の食事会



春の大遠足（里山登山）



波瀬小学校閉校の記念植樹



シデコブシ



御前山頂上より波瀬のまちを望む

#### 里山活動を通じて地域づくり・人づくり・文化の創造と継承

- ①地域の「交流の場」とする  
里山を子どもから老人まで健康増進を図り、親睦・憩いの場とする
- ②子どもたちの「環境教育の場」とする
- ③地域の「歴史や文化の再認識の場」とする  
（雨乞い、琴平神社跡、石造物等）
- ④「仲間づくりと地域復帰の場」として地域コミュニケーションの再生をはかる



水仙の球根植え付け



植樹祭（桜の苗木）

#### 『里の丘広場』の設置と活用

農業の構造改善や木炭から石油・ガスといった燃料転換等により、利用されなくなった里地里山は、管理する人もなく、山林が藪に変わり、田んぼが雑草に覆われるようになりました。

里地里山は、高度成長期を境に変容し、農村人口の減少と高齢化による地域の活力の低下や、昨今のイノシシ・シカ・サルなどの野生生物による被害もあり、ますます自然環境の荒廃に拍車がかかっています。

里地里山は、私たちの生活する身近な場であり、生物の生息する場、文化を理解・伝承する場、レクリエーションの場、環境教育の場などとして、多様な価値が見いだされ、地域おこしの原点としてその重要性が広く認識されるようになりました。

時代と共に里地里山に求められるものは変わりますが、自然の恵みを地域の資本として自然との付き合い方を再構築する必要があります。その背景を踏まえ、道祖神の「御前山」の整備から、里地の整備に重点を置き、身近にある豊かな四季の自然を活用するために「里の丘広場」として整備しました。フジバカマを植え、渡り蝶「アサギマダラ」が飛来するようになり、地元だけでなく他の地域からも多くの方に訪れていただくようになりました。

今年は広場のそばを流れる小川を整備し、水辺の生態系も維持し、「ホタルの宿」として蘇りました。また、紅白のフジバカマの苗を植え、今年も10月以降の「アサギマダラ」の飛来を楽しみにして整備しました。

お近くにお越しの際には、四季折々の自然の「里の丘広場」にぜひお立ち寄りください。



秋の「里の丘広場」



R2.8.19 里の丘広場のフジバカマ畑